

近畿ブロック会議（平成30年7月20日・大阪府：太閤園）

参加者は約131名。開催府県の大阪府を代表して、清水尚道大阪府理事長・近畿ブロック協議会会長が開催の辞ならびにあいさつを述べた。その後、福田益和全専各連会長があいさつを述べた。

次いで、来賓を代表して松井一郎大阪府知事（代読）の祝辞が紹介された。来賓紹介の後、文部科学省専修学校教育振興室の廣野宏正室長から祝辞、続いて、高等教育の負担軽減の具体的方策を中心に、行政報告があった。菊田薫全専各連事務局長からは全専各連の活動報告があり、学校情報公開が依然行われていない学校も少なくないことに触れ、積極的に情報公開を行っていくことが肝要だと話があった。またTCE財団が行う各種事業への積極的参画についての要請を行った。

休憩を挟み、重里徳太大阪府副理事長より「高大接続改革と専門学校への影響について」、清水大阪府理事長から「専修学校の質保証・向上のための学校評価」について発表があり、質疑応答、協議を行い、高大接続改革について継続して情報共有をはかることなどが確認された。

最後に、次回開催府県として京都府の田中誠二会長があいさつ、閉会の辞を前川悟副理事長が述べた。その後懇親会となり全日程を終了した。